

農家採胚で牛群改良と高能力牛増殖に貢献

当センターでは、農家の牛群改良を図るため、高能力牛から受精卵を採取し、正常卵を借腹牛に移植し、残った正常卵は凍結保存しています。（以下：「農家採胚」）

2 月は 3 戸（乳用牛 2 戸、肉用牛 1 戸）の農家の高能力牛 4 頭から受精卵を回収して、同じ農家が飼う借腹牛へ 8 頭へ移植し、残りを凍結保存しました。

今年度の農家採胚は要望が多く、2 月までに昨年度実績を上回る 9 戸延べ 32 頭（乳用牛 5 戸延べ 13 頭、肉用牛 4 戸延べ 19 頭）で実施しています。



牛からの受精卵の採取作業